

Governor's Monthly Communication

Vol. 7
2015.1.1

Content

- 表紙……新年のご挨拶とお願い
 2～3…ロータリー理解推進月間に寄せて
 4～5…ホァンRI会長が会長ノミニーを正式に発表
 6～8…新会員ご紹介・ロータリー財団への寄付
 米山記念奨学会への寄付
 9～10…コーディネーターニュース12月号
 文庫通信
 11………出席報告
 12………ハイライトよねやま



2014 - 2015 年度
 国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホァン (黄其光)
 国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)
 2014 - 2015 年度 ガバナー **松本 祐二**
 (地区スローガン) 「笑顔でSERVICE」



新年のご挨拶とお願い

国際ロータリー 第2690地区
 2014-2015年度 ガバナー
松本 祐二 (Yuji Matsumoto)



明けましておめでとうございます。

2015年を迎えて2014-15年度も後半になりました。クラブの公式訪問、地区大会も終わり12月には次年度のロータリー財団セミナーが開催されガバナーエレクトの国際協議会への壮行会も開催されるなどロータリーの活動の軸足は次年度の活動に移り始めています。

地区大会の指導者育成セミナーで講演をされた国際ロータリー第2800地区の藤川享胤パストガバナーは今日のロータリーの原点を1923年に開催されたセントルイス国際大会で決議されたいわゆる「決議23-34」に求められました。この決議23-34は邦訳では3,000字を超える決議ですのでweb版の方に全文を掲載しておきますが、もう一度あらためて読んでいただきたいと思います。要約はロータリー情報研究会の「新入会員オリエンテーション用『今日からロータリーアン』」から引用します。

決議23-34

一般的に決議23-34といわれているのは、これが1923年に開催されたセントルイス国際大会に提出された第34号議案だからです。

決議23-34は、ロータリーの目的に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの奉仕理念をロータリー哲学として確立したドキュメントなのです。

決議23-34

第1条には、ロータリーの奉仕理念が説かれています。「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

第2条には、ロータリークラブの役割について、

- ①奉仕の理論を団体で学ぶこと

- ②奉仕の実践例を団体で示すこと
- ③奉仕活動の実践を個人で行うこと
- ④ロータリーの奉仕の理念と実践を一般の人に受け入れてもらうこと

第3条には、国際ロータリーの役割について、

- ①奉仕の理念の育成と普及
- ②クラブの拡大、援助、運営の管理
- ③情報伝達およびクラブ運営と社会奉仕活動の標準化

第4条には、ロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく、実践哲学であること

奉仕するものは行動しなくてはなりません。

第5条には、クラブの自治権について、

クラブが地域社会に適した奉仕活動を選ぶ絶対的な権限を持っています。

但し、ロータリーの目的に反したり、クラブの存続を危うくするような活動を禁止しています。

第6条には、社会奉仕実践の指針について、

他と重複する奉仕活動の禁止、大規模活動の制約、宣伝目的の活動の禁止、奉仕活動の原則は個人奉仕であり、クラブが行う活動はサンプルにすぎないと記載されています。

引用終了

クラブの勉強会でこの決議23-34をどの様に理解されてい
ましたか?年度に1度や2度はこの基本精神を読み込んで
ロータリーの核心部を再確認する必要があると思います。

社会奉仕と書かれていますが、ロータリーの4大奉仕が確
立したのはこの決議がされた1923年より後の1927年の国際
大会で決議されていますので、決議23-34の社会奉仕とい
う言葉はロータリーの活動の全ての活動を含んでいると解
釈するのが妥当だと考えています。

この決議の一部を取り上げて議論をするのではなく決議
の内容の大きな流れを基礎にしてロータリーを学ばなけれ
ばならないと考えています。そして、この決議が成立した時
代背景も共に知っておくことがより深い理解をするうえで役
立つものと思います。

1923年は関東大震災の年でした。資料を探してみると当
時の東京ロータリークラブは例会は月に1回程度で出席状
況も芳しくなかったようでした。しかし、関東大震災を機に
国際ロータリーから89,000ドルもの義捐金が送られてきたこ
とに驚き、クラブのあり方そのものが変わったような記載が
見受けられます。

もう一度、原点を見直す意味でも決議23-34を読み直
し、クラブ内やグループで意見を述べあってください。年度
の後半に向けてのガバナーからのお願いです。



ロータリー理解推進月間に寄せて

第3ゾーンARPIC

(ロータリー公共イメージコーディネーター補佐)

伊藤 文利 (Fumitoshi Ito)

(倉吉ロータリークラブ)



ロータリー(以後Rと略)の公共イメージ向上を図り、更
にRと言うブランドの認知度を世界に、地域社会に広める事
を目的として国際ロータリー(RI)が世界の各ゾーンに新た
なるRPICと言う名の役職を置いた。今年度、第3ゾーンで
は私がその補佐として活動中です。

RIは1月をR理解推進月間と特別に指定し、ロータリア
ンに再認識するよう求めている。その意味するところは、
我々自身がまずRをもっと深く理解し、その上でRを市民と
社会に知ってもらうという内と外に向けた両面作戦を展開
するようにとRIが1月をR理解推進キャンペーン月と指定し
たのでしよう。

- ①ロータリアンは当然Rを深く理解し、職業奉仕を熟知

し、自らを高め、地域社会から尊敬される人物でありたい。

Rクラブ入会は一般的に狭き門である。当初は例会に毎回
出席し、先輩と交流し、親睦と友情を深め、Rに関する書
籍を読み、学習・経験を踏むが、時間が経ち慣れると学習
意欲が衰える、これでは最新のRをも理解出来ない。鉄は
熱いうちに打てと言うように入会当初からRの基本を徹底
的に学習すべきだ。基本とはRの目的(以前の綱領)、4つ
のテスト、Rの哲学、奉仕の理念(超我の奉仕)等を指す。
我々はこの礎石を常に我が身の一部に取り込み、己の職業
奉仕を含む諸々の活動に励む事が望まれる。ポール・ハリス
は時代と共にRは変化すべきだと喝破している。ここ10年近
くRIが発展の指針として示す戦略計画と夢計画こそ、その

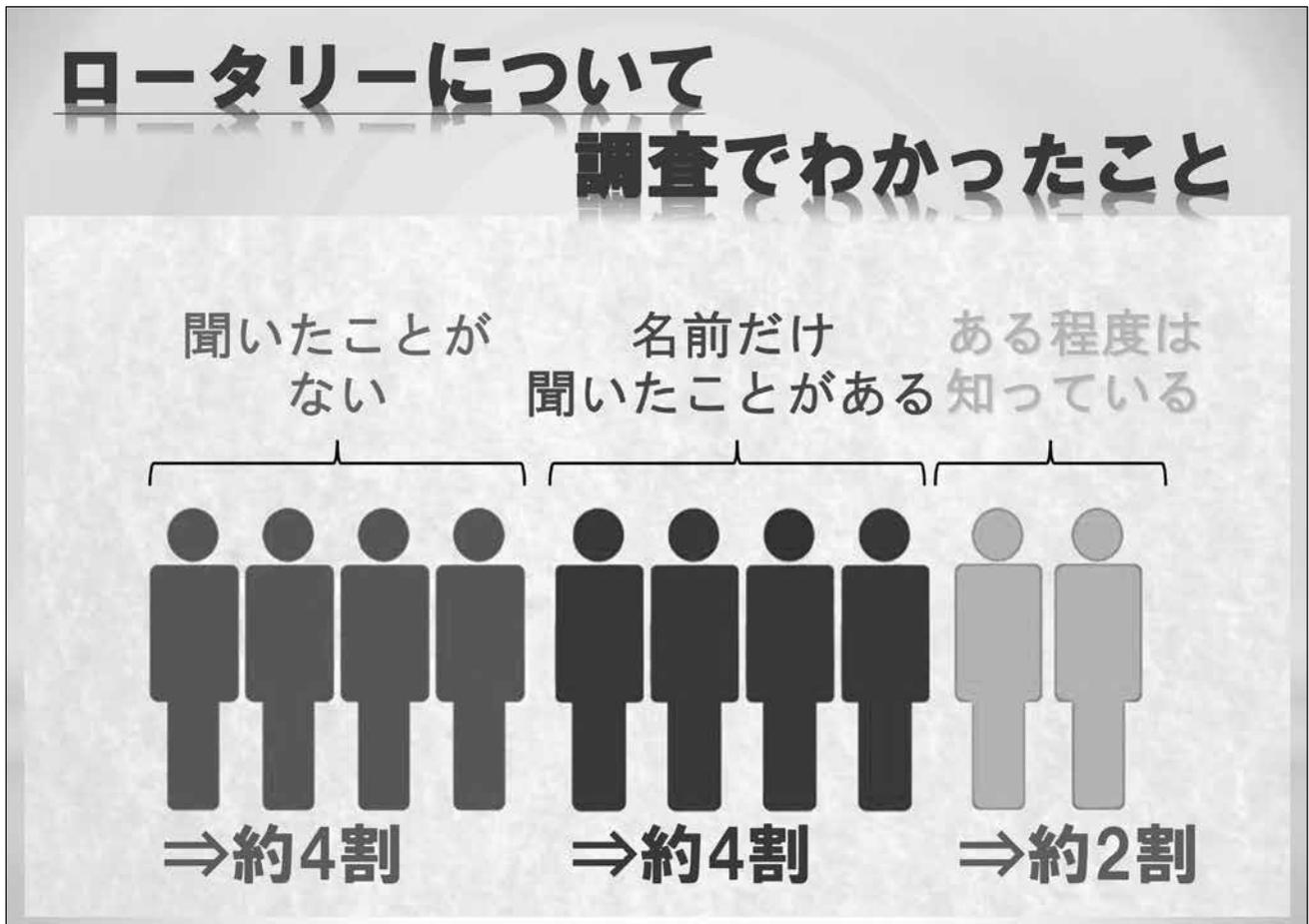
典型例でしょう。全てのロータリアンはこの変化するRの新しい今の姿に対応する為少しでも学習を続ける事が大切だと思う。

②ロータリアンは外に向けてRの良さを広めるよう努めたい。

Rがどの程度認知されているかを最近RIは世論調査し、その結果を図にして発表している。それによると2割が知っている、4割は名前を聞いたことがある、4割は全く知らないとの数字が出た。ここ30年来世界中のポリオ撲滅運動先駆者として我々は活動しているが、世界のマスコミはRの口の字も出さない。又、世界中3万以上のRクラブは夫々独自の奉仕活動をこつこつと積み重ねて110年間地域の発展と住民の幸せの為に貢献しているが、Rブランドの認知度は上記の数字が示す通りとても低い。この傾向を打破する方策として次の2点を提案したい。

A:①で示したように地域社会や市民と直接繋がっているロータリアン自身が模範的で尊敬される職業人であればやがて彼を通してRの評判が、良さが地域に沁み渡ると思う。

B:従来のR広報は陰徳が重んじられ、派手さより地味なものが好まれた。しかし、時代と共にRIはR広報に対する考え方を变えて、我々の奉仕活動は良いものは正直に良いと敢えて宣伝しても決して過剰ではない。本当の姿、声、評価を引き出す事の方が大切だと強調する。ただ、Rのブランド名が冠された奉仕活動が評価されるのはそのRと言う名前ではなくて、その中身である事を肝に銘じなければならない。



※ P9～P10「コーディネーターニュース12月号」も、ぜひお読みくださいませ。

ホアン RI 会長が会長ノミネーを正式に発表

10月1日、ゲイリー C.K. ホアン RI 会長は、ジョン F. ジャーム氏（米国テネシー州、チャタヌーガ・ロータリークラブ）が RI 会長ノミネーとなることを正式に発表しました。

去る8月に RI 会長指名委員会によって選出されたジャーム氏は、今後、2015年6月の RI 国際大会（サンパウロ）にて会長エレクトに選ばれ、会長エレクトとしての任務を1年間務めた後、2016年7月1日に RI 会長に就任します。

>> ジョン・ジャーム氏について

ジャーム氏はインターナショナル・ポリオプラス委員会の現委員長でもあります。

ロータリーの発展には、会員が、現在そして将来の課題と機会に「情熱と粘り強さ、そして何よりも高潔さをもって取り組まなければならない」とジャーム氏。「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。国際ロータリーとロータリー財団が6つの重点分野での活動を通じて、そのパートナーシップをより緊密で強固なものとする上で、2016-17年度がまたとない機会になると考えています」

ジャーム氏が目指すこと、それは「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることです。

「ロータリアンとはどんな人びとなのか、ロータリーがこれまで世界各地や国際レベルでどのような偉業を成し遂げてきたかを、より積極的かつ効果的に伝えることで、ロータリーの公共イメージは必ず向上します。そうなれば、「ロータリーとは何ですか」といった質問を耳にすることはなくなるはずですよ」

世界経済の先行きが見えない現在、ロータリーは、会員の経済的負担を抑えるとともに、「資金を効果的、効率的に活用する方法を常に考えていく」必要がある、とジャーム氏は述べます。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社であるCampbell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者（CEO）を務めています。

また、Public Education Foundation、Orange

Grove Center社、Blood Assurance社など、複数団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee財団の会長も務めています。

1970年には、テネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、1992年には、エンジニア・オブ・ザ・イヤーとボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーに輝いています。

1976年にロータリークラブに入会して以来、RI副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI会長エイドなどを歴任してきました。また、ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞し、ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。

「ロータリーは、伝統と価値観の範囲内で、革新を通じて、急速に変化する世界に対応します」とジャーム氏。「適切な新しいテクノロジーやソーシャルメディアを積極的に取り入れ、新たな機会を活用すれば、ロータリーに対する一般の人びとの理解が深まっていくでしょう」

RI会長指名委員会の委員は、以下の方々です（敬称略）：T.D. グライリー（委員長、米国）、ホセ・アントニオ F. アンティオリオ（ブラジル）、キース・バーナード・ジョーンズ氏（英国）、ケネス R. ボイド（米国）、マイケル・コラサード・シニア（米国）、ヤッシュ・パル・ダス（インド）、ジョン・エバーハード（カナダ）、バリー・マシソン（ノルウェー）、シャカール・メータ（インド）、カルロ・モンティチェリ（イタリア）、サミュエル・オウオリ（ウガンダ）、小沢一彦（日本）、エックハルト・パンデル（ドイツ）、朴柱寅（韓国）、ジョン C. スマージ（米国）、バリー E. トンプソン（オーストラリア）、トーマス M. ソーフィンソン（米国）。

◆地区だより (2014年 10月)

◆新会員ご紹介



田中好洋 鳥取西 RC 平井義一 鳥取西 RC 勝部治政 松江 RC 萬田裕平 松江 RC 中島泰司 松江東 RC 山本広之 松江南 RC 中山真美 出雲 RC 高橋信治 出雲南 RC 山藤志哲 江津 RC 森 正博 倉敷 RC



劔持 一 倉敷 RC

◆ロータリー財団への寄付

ベネファクター



深田雄一 米子 RC 福元儀智 米子中央 RC 國政郁哉 倉敷中央 RC 原 真章 倉敷南 RC

ポール・ハリス・ソサエティ ポール・ハリス・フェロー



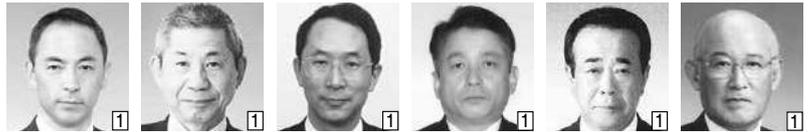
松本祐二 益田西 RC 白髪克也 倉敷南 RC 原 真章 倉敷南 RC 伊澤正信 岡山南 RC 井村 誠 岡山西南 RC

ポール・ハリス・ソサエティ ポリオ・プラスへの寄付



松本祐二 益田西 RC 日名一誠 岡山東 RC

ポール・ハリス・フェロー



堀 泰典 笠岡 RC 梶原行正 岡山 RC 梶谷俊介 岡山 RC 河内良忠 岡山 RC 原 憲一 岡山 RC 越宗孝昌 岡山 RC

クラブ使途指定寄付 (ポリオプラス)

- 鳥 取RC…56.60ドル
- 益 田RC…283.02ドル (ポリオプラスランチ)
- 岡山岡南RC…631.13ドル

使途指定寄付をいただいた方々 (ポリオプラス)

- 境 港RC…足立統一郎 赤崎義孝 藤瀬秀親 福嶋法爾 浜田雅人 北國恵久 細田淑人 堀田 收 市場和志
井田征二郎 門永武志 門脇武志 柏木晴夫 川端 広 川田一郎 木村正明 小林 哲 小徳賢司
黒田 耕 前根伸彦 真野直行 増谷立夫 松井尚成 松本 正 松本雄次 三輪昌輝 村山尚史
中田耕治 岡田 端 岡空晴夫 大塚 功 酒井 英 酒井博淳 坂本靖夫 庄司尚史 田淵英志
田中幸雄 内田幸二 渡邊将利 渡辺 昇 渡邊俊裕 八木橋柳一 山崎康史

- 岡山備南RC…足立富郎 安藤道則 笛木久雄 藤井孝洋 深田昭司 本郷 亮 犬飼泰介 貝原千鶴 片山 誠
柄崎一三 河口亮一 木下修二 河野一郎 倉本琇介 黒川善和 黒崎政彦 三村明彦 光亦 登
中島祐一 難波昌洋 岡原洋介 岡本真樹 岡 延之 遠部雅弘 恩田英宜 坂川陽子 清水明一
高戸賢一 上原和成 若林 学 山下一盛 吉永敏貴

クラブ年次寄付

- 出雲南RC…11ドル（新入会員寄付）
- 岡山RC…669.81ドル（ミリオンダラーミール）

年次寄付にご寄付いただいた方々

- 米子東RC…長谷川進
- 笠岡RC…小堀秀男
- 津山RC…神崎信輔 近堂申洋
- 岡山岡南RC…柚木康司

◆米山記念奨学会への寄付

米山功労者 メジャードナー



米山功労者



クラブ特別寄付

- 鳥 取RC…95,200円 (米山ランチ) ● 鳥取中央RC…46,800円 (米山ランチ)
- 鳥 取 西RC…32,800円 (米山ランチ) ● 松 江 南RC…52,000円 (米山ランチ)
- 出 雲 南RC…31,500円 (米山ランチ) 5,000円 (新会員寄付)
- 益 田 西RC…12,500円 (米山ランチ) ● 笠 岡RC…26,928円 (米山ランチ)
- 倉 敷 南RC…472,000円 (米山月間寄付) 18,144円 (米山ランチ)

特別寄付をいただいた方々

- 鳥 取RC…藤川昭夫 (準米山功労者)
 油野利博 芦谷 茂 安住庸雄 馬場 進 藤川昭夫 藤縄匡伸 福嶋登美子 船本源司 英 義人
 星見清晴 池内勝彦 今井陸雄 石谷暢男 城健一郎 甲斐英則 金坂弘一 木俣信行 岸本信一
 小原隆三 小谷文夫 幸田伸一 久保真人 倉下光明 松本宏思 松浦 広 中村碩男 中尾喬一
 中谷浩輔 西田良平 野口稔浩 荻原誉康 大村匡由 尾崎 繁 嶋田耕一 四宮佑一 塩 宏
 杉山長毅 住川英明 鈴木 現 高橋哲夫 高野 剛 竹内ひとみ 谷口讓二 谷口麻有子 谷本光正
 豊島良太 坪井秀明 土江征典 植木壽一 若本憲治 山岸晃浩 山岸正明 山本康雄 矢野弘之
 米原正明 吉田友和
- 鳥 取 西RC…岡本安量 太田匡彦
- 境 港RC…足立統一郎 赤崎義孝 藤瀬秀親 福嶋法爾 浜田雅人 北國恵久 細田淑人 堀田 收 市場和志
 井田征二郎 門永武志 門脇武志 柏木晴夫 川端 広 川田一郎 木村正明 小林 哲 小徳賢司
 黒田 耕 前根伸彦 真野直行 増谷立夫 松井尚成 松本 正 松本雄次 三輪昌輝 村山尚史
 中田耕治 岡田 端 岡空晴夫 大塚 功 酒井 英 酒井博淳 坂本靖夫 庄司尚史 田淵英志
 田中幸雄 内田幸二 渡邊将利 渡辺 昇 渡邊俊裕 八木橋柳一 山崎康史
- 米 子 東RC…下村 治 荒川雄司 大道由子 岩崎 浩 野坂美仁 楠 明彦 木美俊彦 今出 上 井上賢明
 石部裕一 秦野愛子 秦野啓一 横田政明 松本 啓 松浦啓介 宮本 守 永見吉平 西村正男
 高田 剛 池淵建夫
- 松 江 南RC…安達 亨 安倍基記 荒木彰浩 飯塚研二 池淵功二 石上壽一 石川茂夫 江崎順一 大野敏之
 小村明弘 梶谷健一 門永侯二 門脇末子 菅野 紘 久津智也 古志勝俊 小西清惠 坂本知三
 鷗 順 澁谷和樹 新宮瑞夫 関谷忠之 妹尾典子 高田和宏 田中正彦 谷本 敏 徳田浩一
 中澤 強 永島一雄 中野能洋 野津洋三 濱岡勝司 原田慎一 福島邦光 藤岡成輝 藤原秀博
 古瀬 章 古津弘也 堀浩太郎 又賀航一 松崎健二 皆美佳邦 宮田宗一 持田裕子 安来賢吉
 山口 章 山下裕國 山本広之 山田良治 和久本光 渡部正行
- 笠 岡RC…岡本 章 山河敏幸 内海暉夫 武田恒雄 三宅秀司
- 玉 島RC…青江 巧 原田晴一郎 平井 始 今城友三郎 石井晴樹 石井敏郎 金谷晋爾 柏原 博 香西征四郎
 松田藤夫 守屋佳昭 中田龍伍 西井弘人 西崎朝子 岡田宣二 瀨崎信明 白神 望 平井俊光
 片山洋太郎 木下行巳 初村幸藏
- 津 山RC…友末誠夫 井元乾一郎 櫻井健一
- 岡 山 東RC…阿部英夫 荒川謙三 舟橋弘晃 土井雅人 藤井一也 藤岡千秋 藤原唯朗 藤原 徹 日名一誠
 石井英行 井上 一 井上英雄 井上和宣 石原彰二 糸島達也 貝原明宏 勘藤 晋 木村 旭
 北村正発 近藤典博 近藤聡司 眞殿重喜 三垣日出人 三好和宏 村松 太 根木克己 西本 晃
 丹羽国泰 西下裕平 岡本 哲 大橋正禎 大澤俊哉 齊藤良仁 齋藤信也 更井正人 佐々木篤
 佐藤英明 諸國眞太郎 白髭勇一 菅野正則 砂山有生 高藤祚嗣 高山眞司 武 和志 友野昌平
 富岡正機 内山 淳 浦上澤之 若林宣夫 児島正和 渡邊修司 山田泰照 山本督憲 山下和也
 横手典明 米田弥寿雄 吉野夏己 深田浩史 弘中 環 小橋雅治 松本 崇 大河原喬 末藤達也
 坪井二郎 渡辺 学 福武義修 萱原一則 黒住陽一 池田博昭 齊藤博臣 神田 豪

- 岡山後樂園RC…由良眞言
- 岡山岡南RC…柴田 収 柚木康司
- 岡山西南RC…藤澤敏典 伏見 正 畑野比呂美 本徳智英 岩田光弘 小橋祐治 小林和義 桑原 洋 松下典裕
末吉周平 竹下俊彦 田中英樹 内山一三 油谷直幸

特別寄付をいただいた法人

- 松 江 南RC…第一生命島根支社 (有)友田大洋堂

Vol.4 の追記

- P5 ロータリー財団への寄付 大田 RC 永野雅博
ポール・ハリス・フェロー^⑥
併せて、ポール・ハリス・ソサエティ入会

Vol.6 の追記

- P6 メモリアル・コントリビューター
「益田 RC」…舛谷万里恵が、故父 益田 RC 岡本馨会員のために。

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



直野喜光 会員
(米子 RC)
2014年10月25日ご逝去(享年80歳)
1970年12月11日入会
直野法律事務所
所長
弁護士
2001-2002年度 会長
ベネファクター 1回
ポール・ハリス・フェロー 3回
米山功労者 10回



本田行憲 会員
(益田西 RC)
2014年10月21日ご逝去(享年60歳)
1995年6月1日入会
妙雲寺
代表役員
寺院
1998-1999年度 幹事
2002-2003年度 国際奉仕委員長、理事



コーディネーターニュース 12月号 (2014年11月12日配信) 公共イメージ向上のため先進地区に学ぼう

第3ゾーン RPIC 岩永信昭 APRIC 伊藤文利 ARPIC 高島凱夫

コーディネーターニュースとは

今年度8月号のガバナー月信から毎月コーディネーターニュースというコーナーが掲載されている事にお気付きの方も多くおられるかと思えます。

これは戦略計画に則ってRI会長から任命されたロータリーコーディネーター(RC)及び補佐(ARC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)と同補佐(ARPIC)が持ち回りで最新の情報や担当分野の解説をお示しし、全国のロータリアンの皆様に戦略計画推進の理解の一助となるよう企画されました。これに北清治、杉谷卓紀両RI理事のご支援により各地区ガバナーにご協力を頂き掲載されているものです。

先進地区に学ぼう

公共イメージ向上と言われても一体何を行なえばいいのか頭を悩ませる事ばかりかと思えます。さる11月1～3日第2760地区は昨年度に引き続き、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」を開催されました。テレビ塔がある名古屋の大通公園一帯に各国の多様な料理で一杯のワゴン車が並び、地元アイドルグループのミニコンサートなどもあり、とにかく楽しいイベントでした。入場者数は約7万人、最終日は「ジャパン・ロータリーデーin愛知」と銘打って行われ、全国から多くのロータリアンが参集しました。このように他地区には模範となる素晴らしい活動があります。今回はほかに第3ゾーン内で顕著な活動を続けている2地区について報告して頂きます。



第2650地区の活動実績

報告者：ARPIC伊藤文利

国際ロータリー第2650地区広報・雑誌委員会の役割は…第1にガバナーの方針を広報すること。第2に地区内ロータリークラブ(97クラブ)の広報活動のお手伝いをする事。第3に地区委員会の広報支援と情報共有の強化であります。広報=PRとは組織体とその存続を

左右するパブリックとの間に、相互に利益をもたらす関係性を構築し、維持するマネジメント機能であることを念頭に、ロータリークラブにおける広報・PRの対象はクラブ会員、ガバナー事務所、地区内クラブ、日本のロータリークラブ、世界のロータリークラブ、政府や地方自治体、環境団体や消費者団体です。単に「広く報じる」だけではなく、ロータリーの奉仕活動の意義、役割をグローバルな視野で発信し、その輪と人を媒体として伝えることを目的にしています。

■ガバナー記者会見実施

奈良・京都・福井・滋賀4府県でのガバナー記者会見を実施し、多くのメディアを通してガバナーの方針やRIゲイリーC. K. ホアン会長の方針が報道されました。また地区内ロータリークラブから提出されていました。

今年度の活動計画シートの一覧を取材に来られた各社に配布し、地元ロータリークラブの活動への理解と広報のご支援をお願いしました。



■地区広報賞受賞の全18クラブの活動ポスター展示

京都駅「烏丸公共地下道」での活動ポスター展を開催。



■WWW(world wide web)の積極的利用

インターネット網を利用した様々なコミュニケーションツール(ホームページフェイスブック、ライン、ツイッター等々)は、ロータリークラブと外部との接点として、重要なものとして捉え、積極的な導入を行っています。

■新ヴィジュアルアイデンティティ (VI) の積極導入と導入支援

■「RID2650 Rotary Dining20142015」

地区内ロータリアンが経営・運営に携わる「食」に関する店舗、会社を紹介する本(ホームページも制作)です。この情報本を介して地域社会を初め、国内外の一般の方々に「ロータリーの活動」を広報する事を目的に企画しました。発刊は2015年2月を予定。

文責：第2650地区広報・雑誌委員長 中谷裕二良

RID2660における「公共イメージ向上」活動について
報告者：ARPIC高島凱夫

RI第2660地区では、ここ約6年間RI公共イメージ補助金を受領することが出来ていることに加え、地区予算の中に「RI会長・地区ガバナー協調事業費」を設け、地区内での「公共イメージの向上」を図るべく活動費用を予算化することで、スムーズな広報活動を行っている。

2011～2012年度には、前年度から引き継いだ「感染症ポリオ 残りの1%の闘い」のDVDを作成、テレビ大阪(放送対象地域・大阪府)を通じ放映を行った。

2012～2013年度には、8月にJR大阪駅(東口・西口)の電子公告媒体を用い「End Polio Now」の画像を含め地区内各クラブの奉仕活動の画像を掲示した。翌1月にも同様の掲示を行った(8月の反省から各場面の掲示時間延長を図った)。

2013～2014年度は、10月の世界ポリオデイに合わせ、前出のテレビ大阪を通じ「ポリオ撲滅運動」へのロータリーの取り組みの広報活動を行った。

2008～2009年度から、ラジオ大阪(放送対象地域・近畿広域圏)において「あなたのそばにロータリー」(年間10回、10分程度)を放送。DGE、AG、地区代表幹事、地区委員長などが出演することが習わしになっている。特に8地域のAGは、輩出地域に密着したロータリーの話を提供している。昨年度は、初めて放送を聴いたリスナーから地区宛に「ポリオ撲滅のために」と寄付金が届いたという嬉しい出来事もあった。



JR 大阪駅電光掲示板

※コーディネーターニュース 10月号以前は、web版 Vol.5 をご覧ください。

文庫通信 327号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えていますので、

ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より(3)

◎「ロータリー感想」	佐藤昌介	1933	2p	(札幌ロータリアン第一号)
◎「ガバナーズ、マンズリ、レター」	井坂 孝	D.70	1933	9p (第八号)
◎「何故にロータリーを疑ふ」	村田省蔵	D.70	1933	3p (ガバナー月報第六信)
◎「伊達にはつけぬ襟のバッヂ」	村田省蔵	D.70	1934	1p (ガバナー月報第七信)
◎「米山長老の大演説」	米山梅吉	D.70	1937	3p (ロータリー月報第四報)
◎「戦争と宣伝」	米山梅吉	D.70	1937	5p (国際ロータリー月報十一月号)
◎「僕はロータリーをやめぬ」		D.70	1937	1p (国際ロータリー月報十一月号)
◎「村田元ガバナーに『非常時ロータリアンの覚悟』を聞く」	一 記者	D.70	1937	4p (国際ロータリー月報十二月号)
◎「ロータリー倶楽部を善用せよ」	廣田弘毅	D.70	1938	2p (国際ロータリー月報四月号)
◎「ロータリーとは何ぞやー某大官に対してロータリーを説明す」		D.70	1938	2p (国際ロータリー月報四月号)
◎「ロータリー精神の積極的発揚」	里見純吉	D.70	1938	2p (国際ロータリー月報五月号)
◎「日満ロータリー解散文書」	米山梅吉		1940	3p (郡山 R.C. 三十五年史)

[上記申込先：ロータリー文]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 開館=午前 10 時～午後 5 時
休館=土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



岡山後楽園ロータリークラブ



2014年 9月4日(木)

会場 アークホテル岡山

岡山中央ロータリークラブ



2014年 9月5日(金)

会場 ホテルグランヴィア岡山

出雲中央ロータリークラブ



2014年 9月8日(月)

会場 出雲ロイヤルホテル

鳥取北ロータリークラブ



2014年 9月9日(火)

会場 ホテルモナーク鳥取

鳥取西ロータリークラブ



2014年 9月12日(金)

会場 ホテルニューオータニ鳥取 2F

松江しんじ湖ロータリークラブ



2014年 9月16日(火)

会場 夕景湖畔すいてんかく

岡山北ロータリークラブ



2014年 9月16日(火)

会場 ホテルグランヴィア岡山

岡山丸の内ロータリークラブ



2014年 9月17日(水)

会場 岡山全日空ホテル

高梁ロータリークラブ



2014年 9月17日(水)

会場 高梁国際ホテル

新見ロータリークラブ



2014年 9月18日(木)

会場 ホテル エイコー

笠岡東ロータリークラブ



2014年 9月19日(金)

会場 笠岡グランドホテル

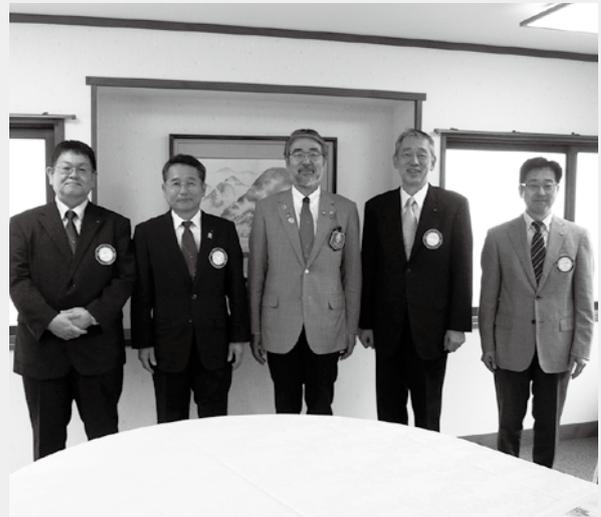
笠岡ロータリークラブ



2014年 9月19日(金)

会場 笠岡グランドホテル

大社ロータリークラブ



2014年 9月24日(水)

会場 出雲教 亀山会館

平田ロータリークラブ



2014年 9月24日(水)

会場 出雲教 亀山会館

出席報告

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	10月末	内女性 会員	増減	
第1グループ	智 頭	79.17%	66.67%	4	12	12	0	0
	倉 吉	92.41%	74.55%	4	56	56	2	0
	倉吉中央	80.87%	66.09%	5	22	23	1	1
	倉 吉 東	92.85%	66.66%	5	40	42	4	2
	鳥 取	98.23%	76.00%	4	62	59	3	▲ 3
	鳥取中央	85.90%	84.62%	2	35	39	0	4
	鳥取北	84.62%	80.00%	4	50	49	6	▲ 1
	鳥取西	88.50%	79.00%	4	48	50	0	2
計 (8)	87.82%	74.20%		325	330	16	5	
第2グループ	境 港	91.89%	74.29%	4	44	43	0	▲ 1
	米 子	80.56%	53.18%	4	65	65	3	0
	米子中央	82.64%	72.59%	4	36	36	2	0
	米子東	81.27%	64.09%	4	85	91	7	6
	米子南	91.23%	64.04%	2	57	60	3	3
	計 (5)	85.52%	65.64%		287	295	15	8
第3グループ	松 江	92.64%	75.00%	4	66	70	0	4
	松江東	94.70%	78.76%	5	59	62	0	3
	松江南	96.35%	79.79%	3	64	65	4	1
	松江しんじ湖	87.20%	69.08%	4	65	64	11	▲ 1
	隠岐西郷	73.81%	55.95%	4	21	22	0	1
計 (5)	88.94%	71.72%		275	283	15	8	
第4グループ	平 田	89.87%	82.91%	4	44	44	2	0
	出 雲	81.11%	61.11%	4	47	49	2	2
	出雲中央	75.37%	58.96%	3	45	45	3	0
	出 雲 南	97.65%	72.22%	4	63	64	7	1
	大 社	86.78%	66.67%	4	47	48	2	1
計 (5)	86.16%	68.37%		246	250	16	4	
第5グループ	江 津	82.29%	68.57%	5	32	35	2	3
	浜 田	90.95%	76.86%	4	59	59	1	0
	益 田	100.00%	73.61%	4	18	18	1	0
	益 田 西	94.12%	72.27%	4	31	28	3	▲ 3
	大 田	93.57%	82.14%	5	27	29	4	2
計 (5)	92.19%	74.69%		167	169	11	2	
第6グループ	井 原	83.02%	62.92%	5	42	42	3	0
	笠 岡	96.07%	86.44%	4	51	51	0	0
	笠岡東	99.36%	87.82%	4	38	39	1	1
	新 見	86.67%	82.50%	5	25	24	2	▲ 1
	総社	78.63%	69.77%	4	36	37	8	1
	総社吉備路	90.00%	83.33%	4	32	32	0	0
	高 梁	87.43%	80.24%	4	43	43	1	0
	玉 島	93.52%	87.96%	4	27	28	1	1
計 (8)	89.34%	80.12%		294	296	16	2	

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	10月末	内女性 会員	増減	
第7グループ	児 島	80.16%	63.68%	4	30	30	0	0
	児 島 東	89.47%	66.67%	3	18	19	0	1
	倉 敷	98.26%	81.16%	4	88	91	0	3
	倉敷中央	77.27%	77.27%	2	13	14	3	1
	倉 敷 南	97.17%	81.90%	3	39	39	4	0
	倉 敷 東	91.10%	71.30%	4	60	59	5	▲ 1
	倉敷水島	92.31%	87.69%	4	21	21	0	0
	倉敷瀬戸内	92.11%	85.14%	4	37	38	3	1
計 (8)	89.73%	76.85%		306	311	15	5	
第8グループ	真 庭	86.87%	79.80%	3	37	36	0	▲ 1
	美 作	87.00%	87.00%	3	36	34	1	▲ 2
	津 山	81.43%	44.74%	5	90	93	3	3
	津山中央	85.87%	73.91%	4	24	25	2	1
	津 山 西	86.84%	83.19%	4	29	29	5	0
	計 (5)	85.60%	73.73%		216	217	11	1
第9グループ	赤 磐	83.33%	77.97%	4	17	16	0	▲ 1
	備 前	64.67%	51.52%	5	60	60	8	0
	岡 山	87.65%	68.73%	5	107	110	0	3
	岡山東	94.26%	83.38%	4	92	93	0	1
	岡山北西	81.21%	75.76%	3	56	56	3	0
	岡山後楽園	78.24%	68.06%	4	52	54	0	2
	計 (6)	81.56%	70.90%		384	389	11	5
第10グループ	岡山旭川	80.23%	66.21%	4	25	24	1	▲ 1
	岡山中央	77.03%	63.77%	5	38	38	2	0
	岡山北	83.54%	68.29%	4	40	41	1	1
	岡山南	86.10%	71.16%	4	154	158	15	4
	玉 野	86.11%	70.55%	5	35	36	0	1
	牛 窓	80.00%	80.00%	3	5	5	0	0
	計 (6)	82.17%	70.00%		297	302	19	5
第11グループ	岡山備南	79.92%	70.19%	4	31	32	2	1
	岡 山 城	92.86%	79.79%	4	26	26	1	0
	岡山岡南	73.60%	62.10%	4	35	34	5	▲ 1
	岡山丸の内	85.06%	70.59%	4	38	39	2	1
	岡山西	86.05%	73.08%	3	69	71	4	2
	岡山西南	88.39%	71.56%	4	58	59	5	1
計 (6)	84.31%	71.22%		257	261	19	4	

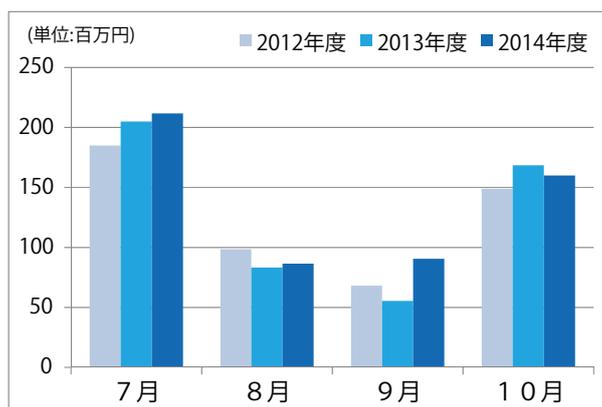
ク ラ ブ 数	67RC	
7月1日現在会員数	3,054名	
10月末日会員数	3,103名	
内 女 性 会 員 数	164名	
純 増	49名	
10月出席率	make-up 後	86.80%
	ホームクラブ	73.03%





寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝いたします! —

10月までの寄付金累計は前年同期と比べ7.1%増、約3,650万円の増加となりました。10月単月の寄付金、約1億6,000万円は昨年度実績には届かなかったものの、直近7年間で2番目に高額となり、今年度は好調を維持しています。米山学友を含め、多くのロータリアンの方々からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、今後も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



2015 学年度奨学金申し込み状況

2015学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程/地区奨励)には、指定校533校(前年度531校)から1,315人(同1,296人)が推薦されました。被推薦者の国籍・地域別にみると、中国が56.9%(同59.5%)、韓国13.9%(同13.6%)、台湾2.6%(同4.3%)、その他が26.6%(同22.6%)となっています。前年に引き続き中国の割合が減少し、その他の国籍が増加しました。その他の国籍で多かったのは、ベトナム、マレーシア、インドネシアなどです。

奨学金別では、博士課程が21.0%(同19.5%)、修士課程40.1%(同38.6%)、学部課程34.5%(同32.9%)、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区12校から計20人の応募が、また、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には7地区9クラブから、そして、試行4年目となる「海外応募者対象奨学金(個人応募)」には、32件の応募(採用枠は14地区、各地区で最大3人)がありました。

11月中旬から、各地区へ応募書類を発送し、1月下旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者543人(2014年11月現在)が決定します。



■ガバナー事務所

〒698-0033 島根県益田市元町12-7 益田商工会議所1F
 TEL 0856-25-7269 FAX 0856-25-7268
 E-mail: office@rid2690.com
 HP: http://www.rid2690.com
 (ホームページよりPDFをダウンロードできます。)